「だったん」
和歌山県環境ポータルサイト
イメージキャラクター

2026わかやまこどもエコチャレンジ
活動レポート

田中小学校 4年 名前 長田航弥

※こちらに必ず記入願います。保護者の同意が得られた児童のレポートは、このままの状態でホームページに公開します。

Reduce Recycle

毎日捨てて野菜くずを未来の栄養源に
ーお財布にも環境にもやさしいエコ肥料ー

父は趣味で野菜を作っているが、ホームセンターで買う肥料が多く、お金もかかると感じていた。そこで、毎日捨てる生ゴミが肥料として使えれば、ゴミの量を減らせるし、お金や買いに行く時間も減らせるし、お金や買いに行く時間も減らすことができるのではと考えた。

肥料の本を読み比べやすいミニトマトで実験をした。

〈比べたもの〉

①ホームセンターの土

②①＋野菜くず

③①＋米ぬか

④①＋卵の殻

⑤①＋野菜くず＋米ぬか＋卵の殻

⑥①＋市販の液体肥料（窒素・リン酸・カリウム）

〈用意したもの〉

・ミニトマトの苗（大きさが同じぐらい）

・鉢











〈結果〉

【成長の記録と比較】

	①土	②土＋野菜くず	③土＋米ぬか	④土＋卵の殻	⑤土＋野菜くず＋米ぬか＋卵の殻	⑥土＋市販の窒素・リン酸・カリウム
植える時の背丈	20cm	20cm	21cm	21cm	21cm	20cm
収穫時の背丈	45cm	47cm	59cm	56cm	45cm	58cm
果実の色が赤い順	4位	1位	3位	6位	2位	5位
果実の大きさ	3位	2位	4位	5位	1位	6位
収穫数	7個	6個	9個	2個	6個	2個
1個あたりの果実の平均重量	14.1ｇ	14.0ｇ	10.8ｇ	12.5g	13.3ｇ	10.5g



⑤の野菜くず＋米ぬか＋卵の殻のミニトマトが採れた量や味など総合的に良かった。意外だったのは、ホームセンターの土だけでもそこそこ良いミニトマトが栽培できたことである。そして、想定外だったのは、市販の液体肥料のミニトマトの収穫量がとても少なく、見た目も味も魅力を感じなかった。

〈ぼくが続けることができること〉

・野菜を含め、残さず食べること。

・両親と協力して、生ゴミを分別し、肥料にすること。

小さいことからコツコツと、ぼく一とみんなで取り組んで地球を笑顔にしよう。